

# 北海道のダム

Vol. 3

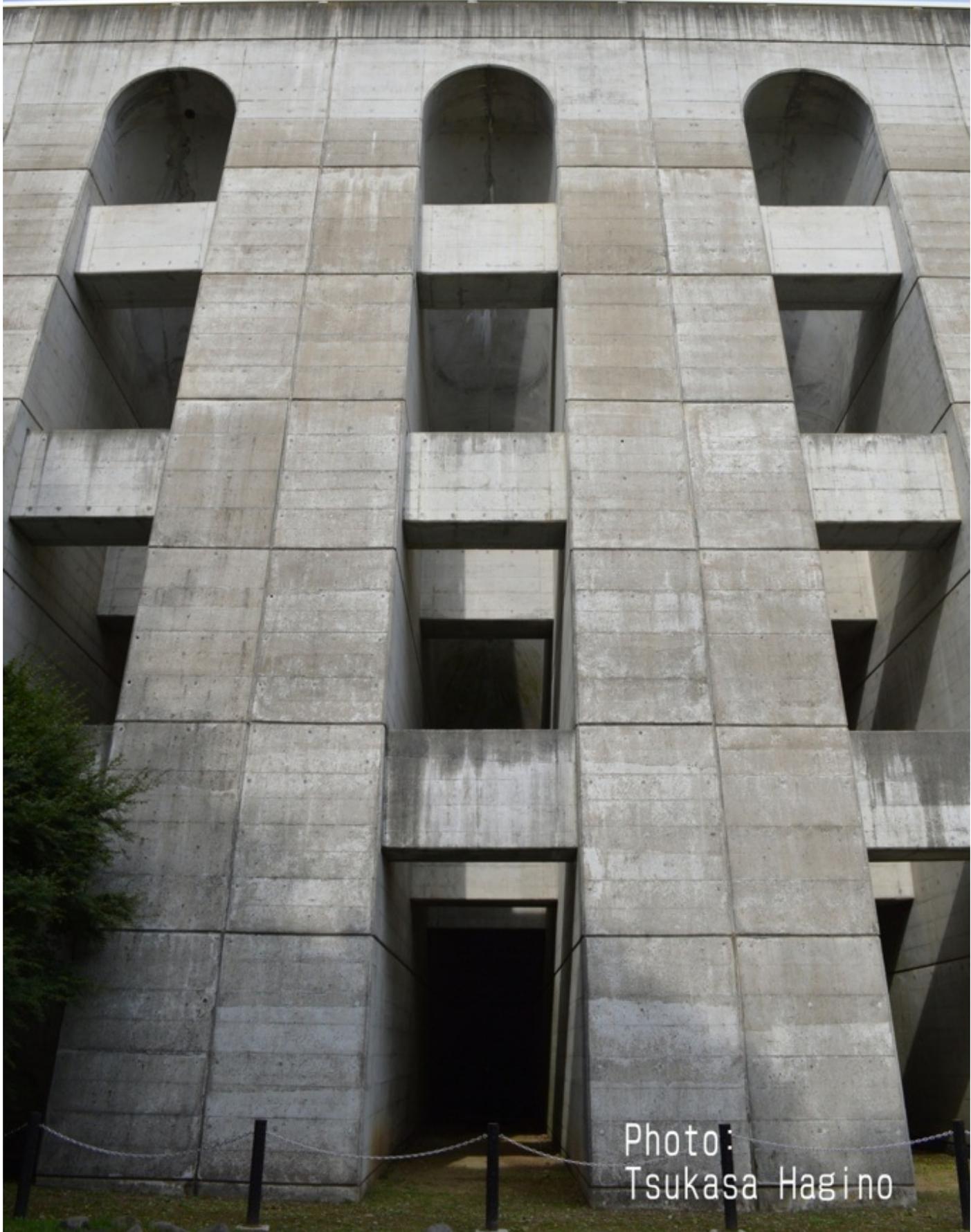


Photo:  
Tsukasa Hagino

## ■はじめに

本書を手にとって頂きありがとうございます。

「北海道のダム Vol.1」、「北海道のダム Vol.2」に続き「北海道のダム Vol.3」を作成しました。

この「北海道のダム Vol.3」では、2013年から2015年までに訪問したダムの中から、Vol.1、Vol.2で紹介しなかったダムをピックアップしています。

日本初のバットレスダム「笹流ダム」や、2015年に新たにダムカードの配布が始まった「幌別ダム」など、8基のダムを紹介したいと思います。

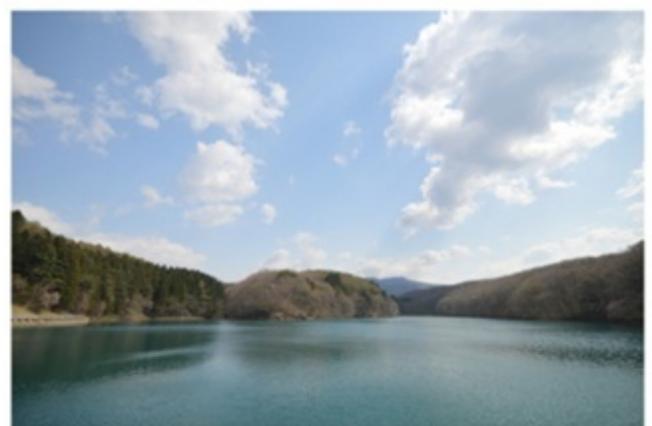
私は専門家などではなく、プロのカメラマンでもありませんので、お見苦しい部分があるかもしれませんが、本書を見て少しでもダムに興味を持ってくれる人が増えてくれれば幸いです。

萩野 司



日本初のバットレスダム 笹流ダム石碑

- ◆本書は個人で作成しており、ダムの管理者・施工業者等とは一切関係がございません。また、ダム建設、ダムの存在の賛否を行うものではございませんのでご了承ください。
- ◆写真撮影について  
基本的に立入禁止区域内での撮影は行っておりません。  
立入禁止区域での撮影の際は、許可を得て撮影を行っております。
- ◆ダム見学はマナーを守り、怪我などをしないよう十分注意し、楽しく行いましょう



## 笹流ダム

現在（2015年07月現在）日本で6基しか存在しないバットレスダムで、日本初のバットレスダムでもあります。北海道では、ここでしか見ることができません。

過去に一度改修工事が行われ、現在の形となっています。

函館中心部からも近く、ダム直下は公園となっており、春は桜、秋は紅葉の名所になるなど、函館市民の憩いの場でもあります。

一見ダムとは思えない美しい形状で、貴重なダムでもあるので、是非足を運んで頂きたいダムでもあります。

## ダムデータ

所在地：北海道函館市陣川町

河川名：亀田川水系笹流川

型式：バットレスダム

目的：W

提高：25.3m

提頂長：199.3m

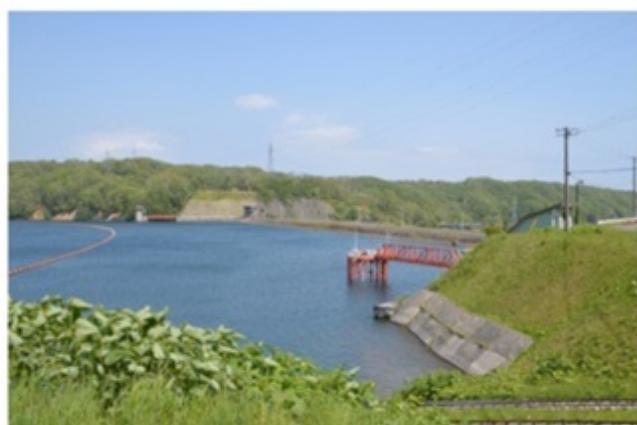
総貯水容量：606千 $m^3$

管理者：函館市

本体着工：1982年

完成年：1989年

ダム湖名：笹流貯水池



## 幌別ダム

登別市にあるアースダムです。  
北海道では珍しい工業用水専用のダムとなり、このダムの水は室蘭の工業地域に給水されています。

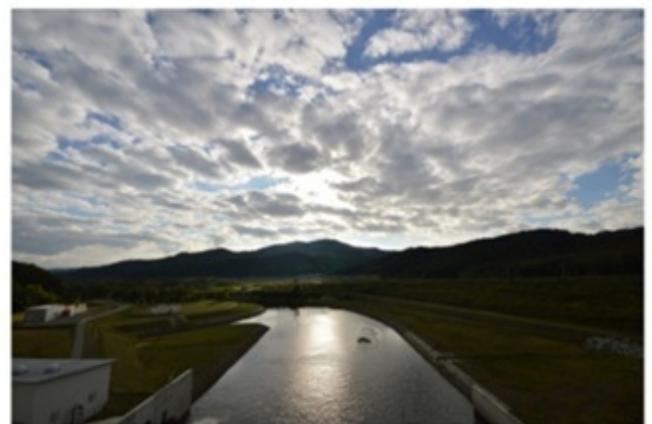
比較的海に近く、海が見えるとされていますが、天端付近は立入禁止の為、一般の訪問者の方はこのダムから海を見ることは難しいと思われます。

また、2015年3月よりダムカードの配布もはじまりました。(平日のみ)

北海道では唯一のアースダムのダムカードとなっております。(2015年7月現在)

## ダムデータ

所在地：北海道登別市片倉町  
河川名：胆振幌別川水系胆振幌別川  
型式：中央土質遮水壁土石フィルダム  
目的：I  
提高：22.50m  
提頂長：366m  
総貯水容量：9,974 千 $m^3$   
管理者：北海道企業局  
本体着工：1964年  
完成年：1967年  
ダム湖名：不盡の湖



## 当別ダム

台形CSGという形式では、初めて完成したダムです。

当初は重力式コンクリートダムとして計画されていましたが、コスト削減等の為、台形CSGダムに変更されました。

札幌中心部から約1時間程度で行くことができ、下流の広場、天端なども一般に公開されています。

ダム湖でもある「当別ふくろう湖」は紅葉の名所としても知られています。

上流には青山ダム、付近には望来ダムや月形ダムなどもあります。

## ダムデータ

所在地：北海道石狩郡当別町字青山十万坪

河川名：石狩川水系当別川

目的：FNAW

型式：台形CSGダム

提高：52m

提頂長：432m

総貯水容量：74500千 $m^3$

管理者：北海道

本体着工：1980年

完成年：2012年

ダム湖名：当別ふくろう湖



## 聖台ダム

美瑛町にあるアースダムで、ダム湖百選と選奨土木遺産にも登録されています。

大きな洪水吐と導流部が特徴的なダムで、春から初夏にかけて洪水吐からの越流を見ることができます。

また、ダム横にある聖台ダム公園は桜と紅葉も美しい場所となっています。

付近には忠別ダムや新区画ダムなど多数のダムが存在し、また美瑛町は丘陵風景が美しい事で有名です。

美瑛町はダムも多く存在し、景観も非常に良い地域なので、是非訪問してみてください。

## ダムデータ

所在地：北海道上川郡美瑛町字中宇莫別

河川名：石狩川水系宇莫別川

型式：中心コア型ゾーンタイプアースフィルダム

目的：A

提高：29.7m

堤頂長：485.4m

総貯水容量：3,767 千 $\text{m}^3$

管理者：北海道

完成年：1937年

ダム湖名：聖台貯水池



## 常盤ダム

赤井川村常盤にある小さな重力式コンクリートダムです。

このダムに向かうには下流の落合ダムから砂利道を通り約3～4キロ走る必要があります。

砂利道を進んで行くと赤いゲートと手すりが見えてきますのですぐにわかると思います。

ダム直下へ続く道は立入禁止となっている場合もあるようです。（上記の撮影のための訪問時は立入禁止の表示はされていませんでした）

道中は車1台が通れる程度の幅しかなく、水溜りも多く、熊などもよく出現する地域ですので訪問の際は注意が必要です。

## ダムデータ

所在地：北海道余市郡赤井川村常盤

河川名：余市川水系小樽川

型式：重力式コンクリートダム

目的：W

提高：20.1m

堤頂長：120m

総貯水容量：500千 $m^3$

管理者：小樽市

本体着工：1969年

完成年：1971年

ダム湖名：常盤貯水池



## 尾白利加ダム

雨竜郡雨竜町にあるロックフィルダムです。別名「暑寒ダム」とも言われています。道の駅「田園の里うりゅう」から西へ約10キロ程の位置にあり、雨竜沼湿原に向かうにはこのダムの天端を通ることとなります。天気が良いと暑寒湖から暑寒別岳を見ることがもできます。（写真上、左下）

尚、雨竜沼湿原は冬季期間は通行止めとなっておりますので、訪問の際は確認をお願いします。（ダムへの訪問は可能です）

## ダムデータ

所在地：北海道雨竜郡雨竜町字尾白利加 251  
河川名：石狩川水系尾白利加川  
型式：ロックフィルダム  
目的：A  
提高：31.8m  
堤頂長：233m  
総貯水容量：10979 千 $m^3$   
管理者：北海道開発局農水部  
本体着工：1953年  
完成年：1966年  
ダム湖名：暑寒湖



## 清水沢ダム

夕張市にある夕張スーパーダムの下流にある重力式コンクリートダムです。

歴史は古く、北炭夕張炭鉱等に電力を供給する為に建設されました。

堤体も歴史を感じさせる貫禄のあるダムなのでこのダムのファンも多いのではないのでしょうか。

ダム直下には、旧北炭清水沢火力発電所跡などもあり、今でも夕張清水沢アートプロジェクト一環としてイベントなどが行われることもあります。

## ダムデータ

所在地：北海道夕張市清水沢清湖町

河川名：石狩川水系夕張川

型式：重力式コンクリート

目的：AP

提高：25.4m

堤頂長：91.8m

総貯水容量：534.2 千 $\text{m}^3$

管理者：北海道企業局

完成年：1940年



## 朝里ダム

小樽市朝里川温泉にある重力式コンクリートダムです。

下流の朝里川温泉郷から上流に向かって来ると、目を引く横に長い堤体とループ橋ですぐにわかります。

ダムも一般に公開されており、天気の良い日は石狩湾を見ることができます。

ダム上流には朝里ダム記念館や湖畔園地、ダム直下は公園や運動場となっており、市民の憩いの場となっています。

## ダムデータ

所在地：北海道小樽市朝里川温泉1丁目

河川名：朝里川水系朝里川

型式：重力式コンクリートダム

目的：FNW

提高：73.9m

堤頂長：390m

総貯水容量：8,800千 $m^3$

管理者：北海道

本体着工：1979年

完成年：1993年

ダム湖名：オタルナイ湖

## ■ダムの目的記号とダム型式記号

ダムやダムカードなどに記載のある目的記号とダム型式記号についての説明です。

### ・目的記号

- F：洪水調整を表します
- N：流水の正常な機能維持を表します
- A：灌漑（かんがい）用水を表します
- W：水道用水を表します
- I：工業用水を表します
- P：発電を表します



ダムカードの上部に記載されている「FNWP」だと、洪水調整、流水の機能維持、水道用水、発電を行っているダムであることを表しています。

### ・ダム型式記号

- G：重力式コンクリートダム
- HG：中空重力式コンクリートダム
- A：アーチ式コンクリートダム
- GA：重力式アーチダム
- E：アースダム
- R：ロックフィルダム
- MB：可動堰



ダムカードの下部に記載されている「G」だと、重力式コンクリートダムであることを表しています。また、「G+F」の表記は重力式コンクリートダムとフィルダムの複合ダムであることを表します。

## ■あとがき

「北海道のダム Vol.3」を最後までご覧頂きありがとうございます。Vol.1、2に続き、Vol.3を作成させて頂きましたが、今後も引き続き北海道に存在するダムや堰などをできるだけ紹介していく予定で御座います。北海道内のダムには訪問が困難なダムの多数ありますが、訪問可能なダムはできるだけ訪問したいと思っております。これからも引き続き皆さんに紹介できるように活動していきたいと思っております。



改修前の笹流ダム

撮影場所：北海道各地のダム  
撮影期間：2013年～2015年  
参考文献：ダムの科学（一般社団法人ダム工学会）、ダムマニア（宮島咲）  
参考サイト：一般財団法人日本ダム協会

2015年7月19日

## 北海道のダム Vol.3

<http://p.booklog.jp/book/99779>

著者 : tsuka

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/tsuka-dam/profile>

著者のダム写真サイト : <http://damfan.blog.fc2.com/>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/99779>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/99779>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブックログ